

ほくと

2008
Vol. 14
議会だより

未来をつくる北杜っ子



3月定例会



市内保育園

議案と審議	ピックアップ	P2 ~ 5
市長の所信表明		P6
委員会レポート		P7 ~ 8
各会派代表質問		P9 ~ 16
一般質問に	14人	P17 ~ 23
【声のひろば】	8人	P24 ~ 25
北杜市ウォッチング		P26

議案と審議 ピックアップ

3月定例会



企業誘致で活性化を

北杜市の三月定例会は三月五日から二十四日まで十八日間の会期で開催されました。市長提出の平成二十年度の各会計当初予算、十九年度補正予算一五件、条例の制定五件、改正二〇件、契約三件、選挙一件を審議し原案のとおり可決しました。

また、議員提出の意見書一件、その他一件も審議可決して閉会しました。

代表質問は五会派の代表が、また一般質問には一人の議員が立ち、市政の課題について幅広く活発な質問を展開し、市の考えをたどりました。

平成20年度 北杜市のおもな事業

教育・文化に輝く杜づくり

- ・たくましい北杜っ子育て事業・原っぱ教育推進事業費 4,309万円
- ・学校給食センター建設事業費 4億7,343万円
- ・図書館運営事業 1億2,858万円

産業を興し富める杜づくり

- ・農道や農業用水路の整備 5億2,443万円
- ・大規模野菜生産団地企業誘致支援事業費 1億5,000万円
- ・フォレストヒューマン創出支援事業 200万円

基盤を整備し豊かな杜づくり

- ・新山崎住宅建設事業費 7,692万円
- ・長坂・清里駅・小淵沢駅周辺でのまちづくり交付金事業費 5億9,456万円

環境日本一の潤いの杜づくり

- ・環境保全基金積立金 8,000万円
- ・大規模太陽光発電システム実証研究関連事業 5,518万円

交流を深め躍進する杜づくり

- 中学生海外交流事業費 425万円
- 抱川市交流事業 537万円

安全・安心で明るい杜づくり

- ・食育推進プロジェクト事業 400万円
- ・こうのとり支援事業費 420万円
- ・後期高齢者医療事業 5億3,821万円
- ・AED整備事業費 72万円
- ・防災・防犯情報メール配信システム事業費 183万円

品格の高い感動の杜づくり

- ・いなか暮らし体験事業 200万円
- ・大型観光キャンペーン事業費 652万円
- ・子ども体験教室事業費 (チルドレンズ ミュージアムインほくと) 120万円
- ・北杜24景推進事業費 221万円

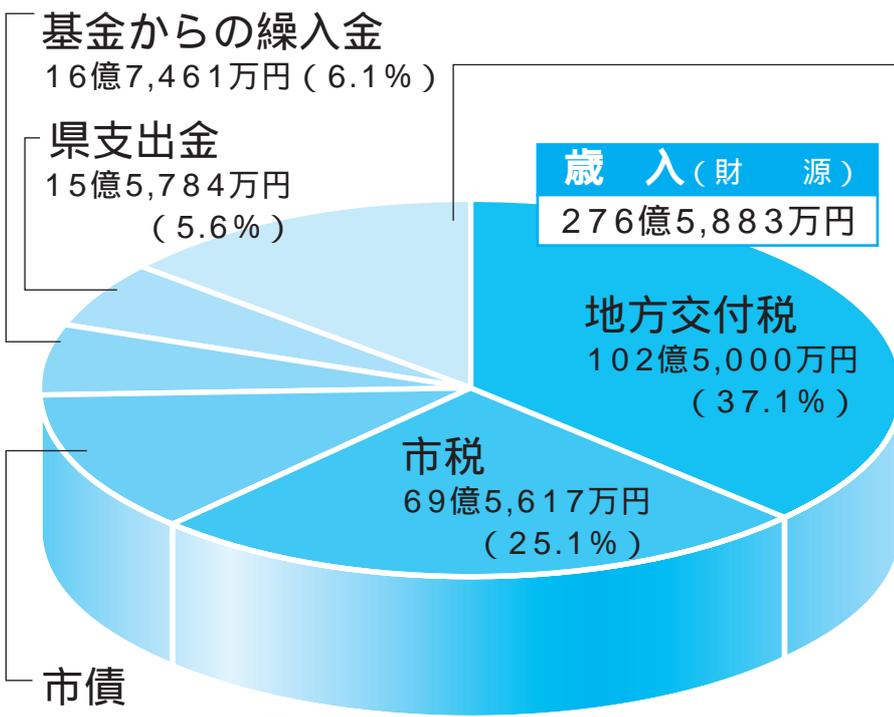
連帯感のある和の杜づくり

- ・地域振興事業費 1億3,950万円
- ・北の杜讃歌発表事業費 144万円
- ・市場化テスト導入事業費 100万円

会期日程

- 3月5日(水) 開会
- ・本会議
- ・市長施政方針
- ・提出議案の説明
- ・議案審議
- 3月6日(木)
- ・議員全員協議会
- 3月7日(金)
- ・議会運営委員会
- 3月10日(月)
- ・総務常任委員会
- 3月12日(水)
- ・文教厚生常任委員会
- 3月13日(木)
- ・経済環境常任委員会
- 3月17日(月)
- ・議案審議
- 3月18日(火)
- ・代表質問
- 3月19日(水)
- ・一般質問
- 3月24日(月)
- ・本会議
- ・議会運営委員会
- ・委員長報告
- ・議案審議
- 閉会

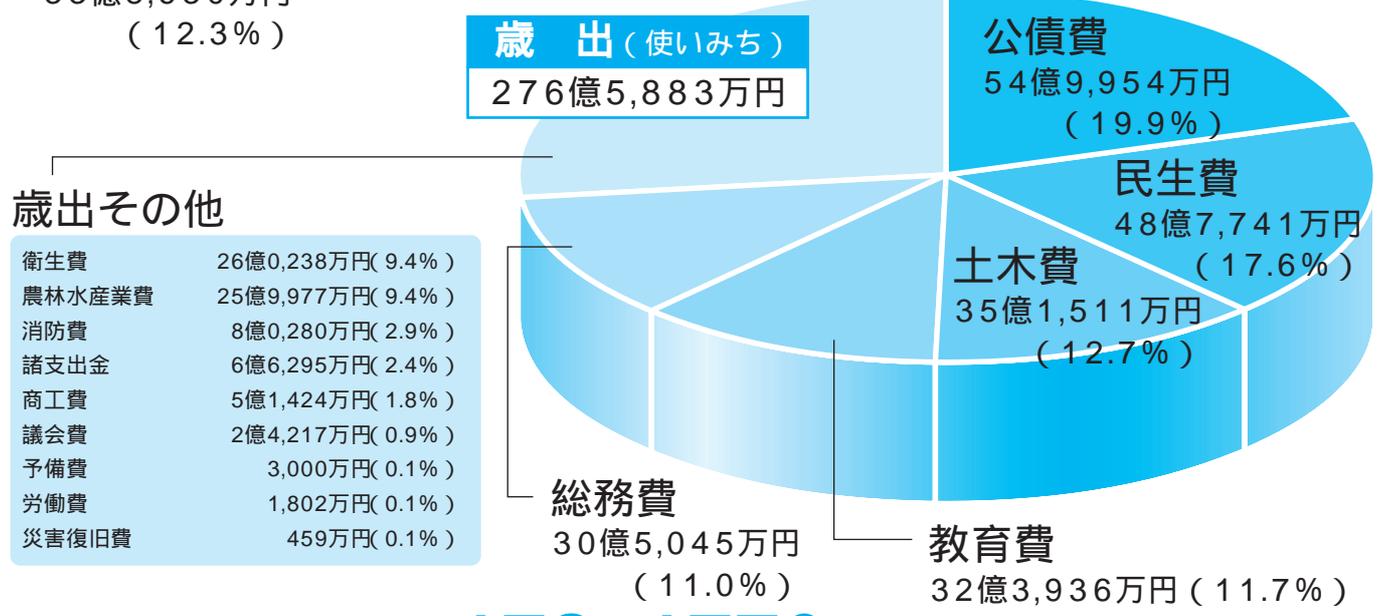
20年度一般会計予算 276億5,883万円



歳入その他

国庫支出金	12億7,607万円 (4.6%)
分担金・負担金	5億3,444万円 (1.9%)
使用料・手数料	4億9,431万円 (1.8%)
地方消費税交付金	4億7,000万円 (1.7%)
地方譲与税	3億5,100万円 (1.3%)
諸収入	1億7,571万円 (0.6%)
自動車取得税交付金	1億7,000万円 (0.6%)
ゴルフ場利用税交付金	9,000万円 (0.3%)
寄附金	8,500万円 (0.3%)
地方特例交付金	6,600万円 (0.2%)
財産収入	6,235万円 (0.2%)
利子割交付金	2,500万円 (0.1%)
配当割交付金	1,500万円 (0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	1,000万円 (0.1%)
交通安全対策特別交付金	900万円 (0.1%)

構成比は端数処理の関係で100%にならない場合があります。



歳出その他

衛生費	26億0,238万円 (9.4%)
農林水産業費	25億9,977万円 (9.4%)
消防費	8億0,280万円 (2.9%)
諸支出金	6億6,295万円 (2.4%)
商工費	5億1,424万円 (1.8%)
議会費	2億4,217万円 (0.9%)
予備費	3,000万円 (0.1%)
労働費	1,802万円 (0.1%)
災害復旧費	459万円 (0.1%)

20年度特別会計予算 178億1,770万円

国民健康保険	53億9,414万円	農業集落排水	11億2,998万円
介護保険	31億2,935万円	診療所・後期高齢者医療・土地開発・居宅介護支援・学校・財産区などの17会計(病院事業会計は除く)	21億4,365万円
簡易水道	30億9,160万円		
下水道	29億2,896万円		

当初予算 総額は 454億7,654万円

予 算

二十年度一般会計

二十年度特別会計

十九年度補正予算

十九年度の一般会計で増額一四億六、二七六万円、特別会計で減額三億九二万円の補正予算が提出され、審議の結果全員賛成で可決しました。

条例の制定

・市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定
地方公務員法改正に伴い職員の自己啓発休業について定める。

・北杜市まちづくり振興基金条例の制定
地域住民の連携や地域振興に役立てることを目的として基金の設置を定める。

・保育園適正規模等審議会条例の制定
保育園の適正規模及び配置・運営について審議する審議会の設置を定める。

・後期高齢者医療に関する条例の制定
制度発足に必要な事項を定める。

中村隆一議員から反対

討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

・健康保険法等の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

長坂町の行政区再編に伴う改正。

市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

職員の育児休業についての改正。

市長等及び職員の給与の特例に関する条例の一部改正

減額の特例を二十二年

度末まで延長する改正。

特別会計設置条例の一部改正

後期高齢者医療特別会計を加える改正。

手数料条例の一部改正

関係法令の施行に伴う改正。

ケーブルテレビ事業管理運営基金条例の一部改正

特別会計の廃止に伴う改正。

市営プール条例の一部改正

施設を廃止することに伴う改正。

放課後児童クラブ条例の一部改正

放課後児童クラブの名



土いじり楽しいなあ～

条例の改正

行政区長設置条例の一部改正

長坂町の行政区再編に伴う改正。

市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

職員の育児休業についての改正。

市長等及び職員の給与の特例に関する条例の一部改正

減額の特例を二十二年

度末まで延長する改正。

特別会計設置条例の一部改正

後期高齢者医療特別会計を加える改正。

手数料条例の一部改正

関係法令の施行に伴う改正。

ケーブルテレビ事業管理運営基金条例の一部改正

特別会計の廃止に伴う改正。

市営プール条例の一部改正

施設を廃止することに伴う改正。

放課後児童クラブ条例の一部改正

放課後児童クラブの名

称の変更に伴う改正。

乳幼児医療費助成金支給条例等の一部改正

医療費の窓口無料化等に伴う関係条例の改正。

長坂高齢者体力づくりセンター条例の一部改正

使用料の額を定めるための改正。

シルバーハウジング生活援助員派遣手数料条例の一部改正

月の途中で入居した場合等、手数料の額の算定方法を定める改正。

国民健康保険条例の一部改正

法令の改正に伴う改正

健康保険法等の一部改正

法令の改正に伴う改正

介護保険条例の一部改正

保険料の激変緩和措置の延長に伴う改正。

保健センター条例の一部改正

白州保健センターの廃止に伴う改正。

農業集落排水処理施設条例の一部改正

農業集落排水処理施設の供用開始に伴う改正。

・農業委員会委員の定数等に関する条例の一部改正

委員の選挙区及び各選挙区で選挙する委員定数改正に伴う改正。

企業等振興支援条例の一部改正

誘致企業の固定資産の免除期間延長に伴う改正

道路法施行条例及び法定外公共物管理条例の一部改正

道路法施行令の一部改正に伴う改正。

国民健康保険税条例の一部改正

関係法令の改正に伴う改正。

以上二十案件について

全員賛成で可決しました。

選 挙

・奥野山恩賜県有財産保護組合議会議員

深澤 保典(須玉町)

皆川 俊一(須玉町)

議員発議

道路特定財源の確保を！



市民の足を整備して

国に意見書を提出

道路特定財源確保に関する意見書

(要旨)

道路は人々の日常生活を支えるばかりでなく、産業・経済活動や豊かな地域づくりにも欠くことのできない、最も基本的な社会基盤である。

しかしながら、本市および周辺地域において、道路をはじめとする公共交通機関は、依然として立ち遅れている。通勤・通学、地場産業、観光など、市民のほとんどが自動車交通に依存せざるを得ない本市において、主要幹線道路の整備による市街地へのアクセス向上は、深刻化している高齢化や過疎化へ歯止めが期

待され、今後のまちづくりを左右する大きな課題となっている。

住民の道路整備に関するニーズは、依然として高いことをふまえ、引き続き道路特定財源の暫定税率が堅持され、真に必要な道づくりが強力に図られるよう、次の事項について、特段の配慮を強く要望する。

一、道路整備を着実に推進するため、道路特定財源の暫定税率を十年間延長する租税特別措置法等の法案について、年度内成立を図ること。

平成二十年二月二十八日
山梨県北杜市議会議員

小澤 寛

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
中村隆一議員から反対討論がありました。採決の結果賛成多数で可決しました。

契約

(仮称)

北杜市学校給食センター建設工事

工事契約の締結

建築主体

契約の方法

一般競争入札

契約金額

二億三、五二〇万円

契約の相手方

甲府市 宝建設㈱

機械設備

契約の方法

一般競争入札

契約金額

一億三、三九八万円

契約の相手方

甲府市 ㈱永田工業所

厨房設備

契約の方法

指名競争入札

契約金額

二億一、三四〇万円

契約の相手方

中央市 ㈱日新厨房企画

三件とも賛成多数で承認

請願

「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書

請願事項

一、公共事業において、建設労働者の適正な賃金が確保されるよう「公契約法」の制定を進めると。

二、「公共事業の入札および契約の適正化の促進に関する法律」の付帯決議の実効ある施策の早期実現を図ること。

請願者

山梨県建設組合連合会

代表者 会長 池川春男

継続審査と決定

広域行政組合報告

峡北広域行政事務組合議会

二月二十八日(木)

第一回定例会が開催され、報告一件、条例五件、補正予算四件、予算五件

人事一件の一六案件が上程され、原案どおり可決・同意しました。北杜市には、各会計の見直しにより、減額予算から三、九五六万円の負担金返還がありました。

山梨県後期高齢者医療広域連合議会

二月二十六日(火)

第一回定例会が開催され、条例の制定三件、補正予算一件、予算二件の六件が上程され、原案どおり可決・同意しました。本年四月からの医療保険制度として、新たに創設されたもので、対象者が約十一万人と見込んでいます。

峡北地域広域水道企業団議会

三月四日(火)

第一回定例会が開催され、条例の制定一件、条例の一部改正一件、予算一件、補正予算一件の四件が上程され、原案どおり可決・同意されました。当初予算は給水収益が一〇億七、三一〇万円との報告がありました。



3月定例会 白倉市長の所信表明

市政の状況

北杜市では、これまでアクションプランに基づき、財政の健全化に懸命に取り組んできました。その結果、市債残高は大型事業の抑制などで、平成十七年度末の一、〇〇九億円をピークに減少し、今年度末には九六五億円になると見込まれます。一方、市税収入は堅実に増加し、来年度の当初予算で六九億円、平成十八年度当初予算に比べ九億円余、一五・七％伸びています。しかしながら、実質公債費比率が一八％を超えるなど予断は許せませんが、明るい兆しも見え、市民の皆様の期待に応えてまいりたいと考えております。

1 環境保全基金

北杜市は環境保全協力を四月から施行します。さらに制度のPRを推進し、環境保全のために役立てていきます。

2 防災・防犯

携帯電話を利用したメール配信システムの導入や、防犯灯を必要個所に順次整備します。また、市役所本庁と各総合支所に自動体外式除細動器(AED)を設置します。

3 北杜市の歌制作発表

北杜市の歌「北の杜讃

歌」が三月に完成。市制施行記念式典で披露。他の三曲と組曲として市内外で歌われることで、市の知名度向上につながるものと期待しています。

4 北杜二十四景・コンテスト

北杜二十四景に関する絵画・写真・俳句のコンテストを実施していきます。

5 有料広告

自主財源確保のため、有料広告の募集を行いました。広報ほくとに六件、ホームページに四件、封筒に四件の応募がありました。

6 市立白州診療所の改修

白州保健センターを白州診療所として改修し、機能の充実を図ります。感染症患者隔離室、リハビリ室、通院治療室等が設置されます。



7 少子化対策の取り組み

遊びざかりの子どもたち。甲陽病院の小児科は、山梨大学の協力により週五日の午前中に拡充。産科も隣接の長野県富士見

8 企業立地

高原病院で来年四月から診療が受けられるようになります。高橋産業省から「企業立地に特色ある取り組みをしている市町村」に選定。さらに積極的に企業誘致に取り組み、収入確保と定住促進に努めます。

9 大型観光キャンペーン

四月から六月にかけ、「山梨ディスプレイネーションキャンペーン」が実施され、JR、県などと広域的に宣伝事業が展開されます。

10 長期滞在型リトリートの杜推進事業

コンソーシアムを設立。組織の基盤強化、事業推進を支援し、「企業向け滞在」の社会実験や、「青少年向け長期滞在」にも取り組みます。

11 太陽光発電系統安定化等実証研究

太陽光パネル、追尾・集光システム等の構築が

12 環境モデル都市

「環境モデル都市」立候補の準備を進めています。また、「新・名水百選」に金峰山・瑞牆山源流を候補地として応募しました。

13 原っぱ教育推進事業

新年度から市内小・中学校全校で、原っぱ教育をさらに進め、「たくましい北杜っ子育成事業」を実施します。

14 チルドレンズ・ミュージアム・イン・ほくと

子どもたちの心身の健全育成を目指し、遊びながら体験できる「チルドレンズ・ミュージアム・イン・ほくと」を、関係団体の協力で開催します。実体験を通し、技術・応用・創意工夫など、幅と厚みを体得する場としていきます。

委員会レポート

審査のあらまし

総務

常任委員会

付託された条例改正五件、一般会計予算（所管分）一件、請願一件を審査し、請願は継続審査とし、そのほかは全員賛成で原案の通り可決した。

北杜市一般会計予算

問 環境保全基金八千万円の内訳は。また、来年度以降はどうなるか。

答 地下水利用企業から、協力の意志表示を受け、現時点の見込み額を計上。寄付金の増減はあるが、継続性ありと考える。

問 公共交通の相互利用の検討は。デマンド交通システムの検討は。

答 検討委員会の中で研究・検討する。

問 前年度に比べ国・県補助金が七億六千万円の減だ、予算編成の考えは。

答 公共事業を抑制し、前年比九〇％のシーリングを行った。

問 結婚相談は特徴的なことをやるべき。

答 四五人の相談員が、

県内・市内で情報交換。十八年度は一〇件、十九年度も一〇件で、県内の成婚率は高い。

問 区に属さない地域の防犯灯の設置予定数は。

答 各支所当たり、一〇基を予定している。

問 防災無線の難聴地域の対応は。

答 市全体のデジタル化は、一五億円の事業費が必要。総合的に検討する。

北杜市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

問 勤務時間の割り振りは、自分で希望できるか。

答 ケースバイケースで、細部は規則で定める。

北杜市長等及び職員の給与の特例に関する条例の一部改正

問 他市の状況はどうか。

答 県内七市で給与抑制措置をとっている。

請願「公契約法の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願」継続審査と決定。

文教

常任委員会

付託された条例制定一件、改正一〇件、一般会計予算（所管分）一件、特別会計予算九件を審査し、全員賛成で原案の通り可決した。

北杜市一般会計予算

問 ひどり親児童扶養手当は、父子家庭も対象か。

答 父子家庭は対象外。

問 学校給食センター建設事業費で、国庫補助金の補助基準は。市債は合併特例債か。

答 国庫補助金五、四九九万円の根拠は、補助対象面積五二六㎡の二分の一と、厨房機器の二分の一。起債は合併特例債。

問 地産地消で、一食当たり小学校二四〇円、中学校二八〇円で足りるか。

答 一食当たり小学校に五円、中学校に一〇円補助。この他に地産地消分の食材費四〇〇万円を補助。

問 小中学校の単独補助教員配置事業で、補助教

員が十一人だが、自閉症や多動性の子どもの補助教員の対応は。原っぱ教育の推進は、学校ごとに申請するのか。

答 特別支援学級を要望する学校に配置する予定で、補助教員は必要に応じて配置。原っぱ教育は、新規事業は等分に事業費を支出予定。従来の事業は当初予算のヒアリングに基づき予算付けをした。

北杜市国民健康保険特別会計予算

問 歳入が減っているが、被保険者数は何人減少か。

答 十九年が二万三、〇八五人、二十年が一万七、二六九人。世帯数が一万二、〇九二戸から九、三七七戸へ減少。

北杜市後期高齢者医療特別会計予算

問 予定徴収率九二％だが、八％をどう考えるか。

答 国保等の徴収率を参考に見込んだ。

北杜市介護保険特別会計予算

問 介護保険の認定者数は。

答 平成二十年二月末現在で、要介護および要支

援は一、七七二人。

北杜市病院事業特別会計予算

問 前年に比べ欠損金改善の要因と、一般会計からの繰入金金の減は。

答 医師確保に努め、病床稼働率アップによる収入増。繰入金金は、繰出し基準に基づき算定した。



甲陵高校テニス部

北杜市甲陵中・高等学校特別会計予算

問 生徒募集のパンフレットは、市内の入学者を増やす目的か。

答 勉強以外の活躍をアピールする目的。

北杜市国民健康保険条例の一部改正

問 国保運営委員会で協議したのか。

答 十九年度の所得確定後、委員会に諮る。

経済常任
環境委員会

付託された条例改正四件、一般会計予算（所管分）一件、特別会計三三件、その他一件を審査し、全員賛成で原案のとおり可決した。

北杜市一般会計予算
問 フィオーレ小淵沢は、二十年度は直営、二十一年度から指定管理だが内容は。



華やかなひとときを

答 管理費用負担義務確認裁判で一番は小淵沢町（現北杜市）が勝訴。その後東京高裁に控訴したので、指定管理が困難と

なつた。二十年度は直営で運営。二十一年度から指定管理公募に向け準備中。

問 白州台ヶ原公衆トイレ、山小屋トイレの内容は。

答 公衆トイレの設計料二〇〇万円と建設費一千万円。山小屋トイレの一六八万円は設計料。

問 松食い虫被害対策費三、四〇〇万円の展開・実施は、道路等周辺を重点的に実施すべきだが。

答 公共施設や被害拡大

地域を重点に、倒木処理は緊急伐倒で柔軟に対応。問 大規模太陽光発電施設の草刈り等の管理は。

答 一期工事分の法面・平地の三万㎡に芝の種をまく予算八六〇万円。

問 小淵沢町巨摩跨線橋の工事費一億四、四〇〇万円の内容は。

答 J Rが市の委託を受け、電気工事を行うもの。問 道路工事費が昨年より約一億円減っているが。

答 大型交付金事業減で減額。

北杜市簡易水道事業特別会計予算
問 長坂町の配水管敷設替えはどこを行うのか。

答 日野春・長坂上条地内道路改良で敷設替え。

北杜市農業集落排水事業特別会計予算
問 浄化槽市町村整備推進事業施設管理経費の三一九万円の内容は。

答 白州町花水地区の合併浄化槽を市が委託管理しているもの。
北杜市土地開発事業特別会計予算

問 分譲価格の改定で、購入者から批判は。

答 土地価格の下落が続き、理解していると思う。

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業明
野永井原地区土地改良事業計画の議決を求める件
問 新規井戸は、掘削深度三〇〇メートルで大丈夫か。地下水が採取できない場合の契約は。

答 電気探査により地下水の採取が可能と判断。契約は、財政課および水道課と協議し進める。

3月
定例会
代表質問

3月定例会では会派を代表して5人の議員が質問に立ち、22項目にわたり市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです

アクションプランの

進捗状況は

ほか3件



市民フォーラム

篠原眞清

問 合併して早や四年が経過しようとしている。

市は合併に大きな期待を寄せた市民に対し、改めて合併構想と現実の乖離について説明を重ね、理解を求めるとともに、現時点で描ける北杜市の将来像を、具体的数値をもつて示すことが肝要と考える。

そこで北杜市が取り組む喫緊の課題を以下四点にまとめ所見を伺う。

まず、行財政アクションプランの実行は、大きな痛みを伴うが、市の財政健全化と発展のためには、超えなければならぬハードルである。そこでアクションプランの進捗状況と課題は、

一、策定が急がれる財政

健全化計画の進捗状況と課題は。

二、公債費適正化計画の進捗状況と課題は。

三、公有財産処分基準の策定は。

四、公営企業経営改善計画の策定状況は。

施策の再構築について

一、行政評価のための、第三者機関の設置は。

二、審議会議事録の公開開示請求の方法等、情報公開の進捗状況は。

市役所の構造改革とスリム化について

一、本庁と総合支所のあり方を含めた見直しは。

二、人材育成計画の策定状況は。

三、電子入札の導入は。

答 市民の理解を得て推進

副市長 一、中長期にわたる財政収支の推計の精度を高め、実現性のある計画とすることが課題。

二、当初予算編成で市債の新規発行を抑え、補正予算で公的資金の補償金免除繰り上げをし、計画以上の改善が見込まれる。

三、利用目的のない公有財産は、地域の実情等を判断し普通財産に移行、処分基準に従い原則一般競争入札で売却する。

四、上下水道事業は、一般会計に依存した経営の改善を図るため、健全化計画を今年度中に策定。料金改定による収入増、経費の抑制に努める。

一、二十一年度に行行政評価の本格導入を行い、第三者機関の設置を検討。



市民のための病院です

二、市政報告会資料、予算書、決算書等の閲覧をはじめ、ホームページ、CATV、広報誌等で情報公開をしている。審議会等の公開に関する要綱を制定。非公開の必要性がある場合以外、審議や会議録を公開する。

インターネットによる開示請求システムも検討。

一、北杜市行政検討委員会を設置し、組織の再編計画を策定する。

二、研修、採用、異動、評価、給与、昇任、国や自治体との交流等の具体的な制度を取り入れ策定。

三、前向きな市町村との共同導入を検討。

問 市民病院の経営改善を

総務省は、病院事業を行う地方自治体に、病院の果たすべき役割と、一般会計負担の考え方を明らかにした病院改革プランの策定を求めている。北杜市は市民が安心して医療サービスを受けられる市民病院を守りながら、改革を進めなければならぬ。

市民病院の役割と財政的支援の位置づけは。医師、看護師確保のための労働環境整備策は。

新しい医療制度では、かかりつけ医を持つことを求めている。市立病院の医師の位置づけは。産科設置の見直しは。

富士見高原病院等との提携の可能性は。経営の全権を持つ管理者を置き経営責任を明確にする公営企業法の全部適用の検討は。

答 健全な運営形態を目指す

副市長 二つの公立病院は地域医療の中心であり、一般会計からの財政支援も必要と認識している。

昨年八月、塩川病院内に託児所を設置、乳幼児のいる職員の職場復帰の環境を整えた。

市の現状から、市立病院の医師もかかりつけ医と考えている。

産科は医師不足で困難富士見高原病院を訪問し、町長と院長に産科医療の提携依頼を行った。

公営企業法の全部適用も検討している。

問 学校教育問題について

市は「原っぱ教育」を推進しているが、新年度の「たくましい北杜っ子育成事業」は各校の伝統や授業数を圧迫しないか。小中学校への単独補助教員等の配置の現状は。心理カウンセラーの小学校への配置、巡回の必要性は。甲陵中学校と高校の位置づけは。

置づけは。

新給食センター建設にあたり、公約の地産地消四〇%の実現は可能か。現在、食材を納入している市内業者が困窮しない措置も必要ではないか。

答 改善に努める

教育長 統一された課題として、またすでに実施している競技会の種目として加えるので負担増はない。今年度の市単独補助教員は十一名。内訳は身体

障害児補助が三校で三人

特別支援学級補助が四校に五人。教科学習補助教員は三校で三人を予定。県の制度で希望する学校に相談員が派遣される。

甲陵高は大学進学を効果的に進める独自システムで高評価を受け、甲陵

中は、中高一貫教育校として他の市立中と異なった教育環境を提供している。

新給食センターは、商工会等による協力の組織化で市内調達を目指す。



みんなで食べるおいしいネ

問 農業振興策について

北杜市の遊休農地の現状は。「企業的農業経営推進支援モデル事業」を活用する考えはないか。農業の担い手はどのくらいいるのか。

農業安定経営のため市の特徴ある支援策は。

答 積極的に取り組む

産業観光部長 七〇〇ヘクタールの遊休地があ

る。企業の農業参入は積極的に推進する。

十九年度の認定農業者が一八五経営体、営農組織が八法人を含む二五組織。今年度は十三名の新規就農者を予定。

担い手育成総合支援協議会による技術指導、経営アドバイス、就農支援相談。資金面の支援策として、農地集積や制度資金の利子補給、特産品開発の機材費への助成等。

北杜市芸術文化スポーツ振興基金の創設について

ほか4件



公明クラブ
細田 哲郎

問 芸術、文化、スポーツは、市民の潤いや豊かさなど地域に活力をもたらす活動である。自主的な活動が活発に展開するためには、財政的な問題

など限界がある。昨年、環境保全を目的とした基金が創設され事業展開ができる状況となった。良き前例に引き続き、企業市民の理解と協力を得て、

答 早期実現に努力

副市長 市の施策の柱である「教育文化に輝く北杜づくり」を推進し、創造性に富んだ芸術文化活動や、生涯スポーツの普及振興を図るためには、安定した財政基盤が必要だ。

問 災害時要援護者支援対策は

芸術文化スポーツ振興基金を、早期に創設できるように努める。

全国的な調査によると、

災害時における要援護者への支援体制は、対象者の名簿作成等に個人情報保護を理由に拒まれるなど進捗していない。北杜市としての支援体制構築への取り組みは。

国から求められている、具体的な避難支援計画の



芸術文化に輝く北杜

策定については。

答 地域ぐるみで支援

副市長 二十一年度までに、災害危険箇所、浸水想定区域、避難所、および防災関連施設等を網羅したハザードマップを作成する。昨年四月、ハケ岳コミュニティ放送と協定し、FMラジオでの緊急放送が可能になった。来年度、携帯電話のメールによる、情報提供システムも整備の予定。本年三月には、災害時に食料・物資の供給を受ける協定を梨北農協と、一時避難場所として、宿泊施設の提供を受ける協定を六カ所のホテル等と締結する。消防団、自主防災組織、福祉関係者、ボランティア等と連携を図るとともに、災害時要援護者支援のマニュアルを、二十一年度までに作成する。

問 転入、居住希望者の相談窓口は

市長は、北杜市への二地域居住や移住・定住の促進、田舎暮らしを体験する取り組みを支援すると

表明している。市に転入したばかりで、生活環境の違いなどで困惑している住民や、新たに居住を希望する者など、市民のための相談窓口の設置を求める。

答 総合的な相談窓口を検討

副市長 十八年度の北杜市への転入者は、一、七〇六人。転入される新市民には、窓口で案内チラ



気軽におこし下さい窓口へ

シを配付するとともに、ホームページでも、暮らしの情報として、各種届け出の案内や手続き方法を詳しく掲載している。二十年度から、総合案内窓口で女性職員が交代制で対応、各支所でも地域振興課に職員の退職者を配置し、相談業務にあたる予定である。その相談内容、件数などの状況を見て、総合的な窓口の設置について検討する。

問 隙間が生じている地域福祉について

要援護者はさまざまな困り事やニーズを抱えながら、閉じこもりがちになり、地域社会の中で見過ごされる可能性がある。要援護になっても、地域の中で、自宅でその人らしく生きられるように、住民全体で支え合うことが地域福祉のあり方だ。住民の支え合いマップの作成と、世話人を中心とした地域の福祉体制の構築を提案する。

答 社会福祉協議会などと連携

保健福祉部長 要援護者の所在、近隣の支援住民や、福祉サービスの問い合わせ先等を記載した支え合いマップは、有効な手段だと認識する。個人情報保護法にも配慮し、民生委員、児童委員、保健福祉推進委員、および社会福祉協議会等にも、マップについて協議を依頼したい。地域の世話人的リーダーには、各委員等に協力をいただきたい。

問 平成二十年度予算案と財政は

二十年度新設された、地方交付税の特別枠「地方再生対策費」の北杜市に対する試算額は、四億五、六〇〇万円だが、どのような事業に予算化したのか。

答 重要施策を積極的に展開

副市長 地方再生対策費は、地方税の存在を是正するため、活性化策の経費を確保、財政の厳しい地域に重点配分される。普通交付税なので、使途は特定されない一般財源だが、特別措置の趣旨に鑑み、少子化対策や安心・安全なまちづくり、観光振興や企業誘致、環境対策などに活用する。総務部長 一月末現在、個人市民税の現年分徴収額は、一六億四、三〇〇万円余で前年度比四億二千万円の増額（納税者分五千万円余、定率減税分一億一千万円余、税源移譲分二億六千万円余）、徴収率七八・四％。法人市民税は七億六、一〇〇万円余で、九八・六％。市税増収の要因は、法人市民税では、半導体関連の主要法人の増益。固定資産税は、新築住宅の建設。軽自動車税は取得増加によるものである。

道路特定財源 本市への影響と対策は

ほか4件



北杜クラブ

小林 保壽

問 道路財源であるガソリン税等の暫定税率が、政治の争点になっている。本議会でも、道路特定財源堅持に関する意見書の提出が議決された。市長の所見は。

答 一般財源化や暫定税率が撤廃されると、市にとっては、具体的にどのような影響があるのか。市としてアクションを起こすことはないのか。

答 暫定税率維持を希望

副市長 道路特定財源は、受益者負担の理念に基づいた目的税であり、公平性・安定性・合理性がある。安易な一般財源化は、税の公平性を欠くため反対する。二十年度当初予算では、自動車重量譲与

環境をキャッチフレーズにする北杜市にとって、

問 環境保全協力金について

副市長 環境保全協力金は、財政上からも道が開けた感があり喜びたい。協力企業の種類と収入の見込みは。強制力を伴わない協力金であるため、来年度以降も安定して予算に計上できるのか。基金条例を制定したが、使用目的に法的規制はあるのか。以上の三点について伺う。

答 環境保全協力金の創設は、財政上からも道が開けた感があり喜びたい。協力企業の種類と収入の見込みは。強制力を伴わない協力金であるため、来年度以降も安定して予算に計上できるのか。基金条例を制定したが、使用目的に法的規制はあるのか。以上の三点について伺う。

答 継続的な協力を

副市長 環境施策を推進

環境保全協力金の創設は、財政上からも道が開けた感があり喜びたい。協力企業の種類と収入の見込みは。強制力を伴わない協力金であるため、来年度以降も安定して予算に計上できるのか。基金条例を制定したが、使用目的に法的規制はあるのか。以上の三点について伺う。



財源確保で道づくり

答 継続的な協力を。環境保全協力金の創設は、財政上からも道が開けた感があり喜びたい。協力企業の種類と収入の見込みは。強制力を伴わない協力金であるため、来年度以降も安定して予算に計上できるのか。基金条例を制定したが、使用目的に法的規制はあるのか。以上の三点について伺う。

問 CATV指定管理移行への対応は

副市長 ケーブルテレビは、二十年度から、指定管理者制度に移行する。高根、大泉の住民説明会で混乱があったと聞くが、実状は。

答 市民の理解を得て運営

企画部長 住民説明会では、デジタル化に伴う各家庭での機器対応方法、今後のサービス内容等、質問・疑問が数多く寄せられた。特に、料金改定については、適正な負担水準の設定のための算定資料等を提示し、理解を

問 入札制度の設計価格検証が必要では

副市長 ケーブルテレビは、二十年度から、指定管理者制度に移行する。高根、大泉の住民説明会で混乱があったと聞くが、実状は。指定管理者のネットワーク北杜と、葦崎電設、NNSとの足並みは揃うのか。北杜市は難視聴地域が多いが、期限までに対応は可能なのか。

副市長 ケーブルテレビは、二十年度から、指定管理者制度に移行する。高根、大泉の住民説明会で混乱があったと聞くが、実状は。指定管理者のネットワーク北杜と、葦崎電設、NNSとの足並みは揃うのか。北杜市は難視聴地域が多いが、期限までに対応は可能なのか。

問 市の十九年度の実質公債費比率は一九・四％、起債残高は約九六四億円と、財政状況は非常に厳しい。起債発行も、元金償還額の範囲とする行政



二十年度 当初予算編成の方針は

ほか3件

北清クラブ
坂本 治年

改革アクションプランの、目標達成に近づけることが大切だ。一般行政経費の抑制、経常経費の見直しなど総合的に検討し、市民が将来に向かって、

副市長 公共事業の削減、市債発行を元金償還額の範囲内とし、アクションプランの目標達成などで抑制した。平成十七年度末の一、〇〇九億円を

答 起債残高、公債費比率とも改善

夢と希望の持てる政策が重要だ。市税の今後の見直しは、起債残高と実質公債費比率は、夢のある北杜市の将来に向けての重要課題は。



本年度計画は

ピークに減少し、今年度末に九五三億円と見込まれ、実質公債費比率につ

いても、公的資金の補償金免除繰り上げ償還などで、計画以上に指数が改善する。少子化対策、安全・安心なまちづくりなど、本市の特色を最大限生かし、観光振興や企業誘致、環境対策など重要な政策課題に積極的に取り組む。総務部長 二十年度当初予算で、市税総額六九億五千万円を見込み、前年度に比較して、総額で三億六千万円、五・五％増となる。また、山梨県

問 新学習指導要領について

地方税滞納整理推進機構と共同し、市税の徴収強化に努める。

ゆとり教育から学力重視路線へ大きく踏み出した。教育委員会は先生の雑務の軽減に心を砕き、教育に専念できる対策が必要と考える。新指導要領の研究を。原っぱ教育と新指導要領について。教師に対する補助職員

設計価格がある。適正な価格かは、どの部署が判断しているのか。専門業者があるそうだが、県内には該当するものはあるのか。給食センターには、一〇社が入札があったが、一〇社が辞退した。予定価格が低すぎたのではないか。設計価格を検証するシステムが必要ではないか。

答 試行を重ね検証する

副市長 今年度、試行し

ている一般競争入札は、就業促進住宅など五件を実施。期待通り、多くの参加業者があった。落札率平均は九二・五％で、いささか期待外れの感がある。試行を重ねて問題点を検証する。建設工事等の発注については、緊急時に備えるとともに、地元業者の発展に資するように、優先的に指名してきた。一般競争入札も、可能な限り地域限定型で実施する。土木工事は各事業担当

課が、建築工事は業務委託したコンサルタントが設計積算し、適切な設計価格が算出されていると考えている。県内で、積算チェックを専業としている企業は把握していない。設計図書を検証システムは、県とも相談し、必要性を検討したい。

問 クリーンエネルギー推進を

温室効果ガスの削減を義務づけた、京都議定書が今年スタートする。県

答 実践と啓発に努める

内では、クリーンエネルギー推進の動きが活発化している。村山六ヶ村堰水力発電の排水を再利用した発電所建設を提案するが、生活環境部長 市は、環境創造都市を目指し、村山六ヶ村堰水力発電、太陽光発電事業の導入、ゴミの分別・資源化、リサイクル、BDF燃料の活用、里山整備など、CO

2の削減とクリーンエネルギーの利用に取り組んできた。四月からは、温室効果ガスの削減目標を掲げた環境保全率先行動計画に、職員が取り組む。二十年度中に、市内のCO2排出状況を調査し、数値目標や取り組み内容を明確にし、北杜市地球温暖化対策地域推進計画を策定する予定。副市長 再利用式の発電所建設の提案は検討する。



再利用式の発電所建設を

の増員は。

答 生きる力を育む
理念を引き継ぐ

教育長 小学校では平成二十二年度から、中学校では二十四年度から完全実施されるが、来年度発足する北杜市教育研究会等で、研究に取り組み

生きる力を育む理念は引き継がれ、原っぱ教育の目標と合致する。「たくましい北杜っ子育成事業」で、指導要領に沿った取り組みを進める。

国・県の学級編成の基準は一学級四〇人、県の輝き三〇プランで小学校一、二年生は、三〇人学級が非常勤講師の加配を選択できる。市内の小学校では、八〇%の学級が三〇人以下で、きめ細かい指導がされている。特別支援教育は、補助教員による支援の充実を検討していく。

問 食の安全について
価格や入手の容易さより、安心を求め、国産食材の安定的生産と安全性の確保の最優先を求める。

食についての指導は、地産地消への協議会の設置は。

学校給食、保育園における輸入食材の使用状況は。

答 地元農産物供給
率を高める

副市長 食の指導は、主に地域の生活改善推進員の協力が基本で、地域へ広く情報を普及している。今年度は保育園児・保護者を重点に、食への興味を目的にアプローチしているが、長期にわたる計画の検討が必要と考える。

食育計画の策定と推進を図る組織として、北杜食育地産地消推進協議会の設置を予定している。学校給食センター稼働後の二十二年度には、学校給食での地元農産物の使用率を四〇%まで引き上げ、病院や福祉施設などへの地元農産物供給も、順次検討していく。

基本的に地元産・国内産を使用。時期、天候、価格等で一部輸入に頼るが、農薬等安全である証

明書や成分分析表等の提出で、安全性が確認できた食材のみ使用する。

環境モデル都市を目指す意味でも、フードマイレージ等、環境負荷軽減にも努めていく。

問 市内土木・建設
業への支援は

県内の大手建設業者の倒産は、一会社の問題でなく、社会問題である。市内で大型倒産は聞かないが、地方交付税の減少



大きな声で元気よく

等で厳しい財政運営が強いられる一方、市内企業の育成・支援も考える必要がある。

市内の建設業者の数は、ランク別業者数と、ランク付けの基準は。

十九年度公共事業の総発注額、市内業者の落札額、その実績と発注件数は。

二十年度当初公共事業発注予定額は。企業への融資制度の考えは。

答 融資制度の
窓口指導を行う

副市長 北杜市小規模企業者資金融資制度があり、七五〇万円を限度の貸付制度がある。

県では新規借入れの融資限度額二千万円が八千万円に引き上げられ、償還期間も七年から十年に延長した。

企画部長 建設業者数は、指名登録社一〇八社。ランク別業者数は、土木でAが五社、Bが一五社、Cが二二社、Dが三六社。建築はAが二社、Bが

一〇社、Cが一社、Dが九社。

ランク付け基準は、県審査の客観点に、市の主観点を加え、ランクごとの基準点数に当てはめて決定。

十九年度総発注額は、三九億四、七五五万円、二四八件。

市内業者二一七件、三二億五、五〇〇万円。率は八七・五%。

二十年度発注予定額は二二億一、二〇〇万円、十九年度に比べ、九億七千万円減少している。

フードマイレージ
とは

フードマイレージとは、食料の輸送距離という意味で、食料の生産地から消費地までの距離に着目し、なるべく近くでとれた食料を食べることで、輸送に伴うエネルギーをできるだけ減らし、環境への負荷を軽減しようという運動。

地産地消を進めることで、輸送コストを削減し、ひいてはエネルギー消費や、CO2の削減を図ることができるとされています。

木質バイオマスの 取り組みについて

ほか3件



政経会

渡邊陽一

問 北杜市は、里山事業や山林の美化保全に努めてきた。さらに、木質バイオマスエネルギーの利活用にも取り組んでほしい。自然の恵みを生かして、間伐材等を有効利用した、ペレット工場を立ち上げてはどうか。

以前、バイオマスタウン構想に関する質問に、新エネルギー推進協議会で調査・検討するとの答弁を得た。進展具合は。

答普及を促進する

副市長 木質バイオマスエネルギーは、森林保全、地球温暖化防止などが図られることから、里山整備のなかで「森づくり木づかい」事業を実施している。住民が薪炭材などに利用するほか、代替工

ネルギーとして、ペレットストーブなど広範囲に活用されている。情報発信に努め、さらに普及を促進する。木質バイオマスエネルギーの利活用としての、ペレット工場の建設については、現時点ではコスト面や事業面など課題があり、時間をかけて検討する。

新エネルギー推進協議会は、地球温暖化クリーンエネルギー推進協議会に名称変更し、今月末の設立に向けて準備している。市民、企業、団体および市が共同して、温暖化防止対策の実践行動を促進することを目的に、協議会には地球温暖化対策部、クリーンエネルギー推進部等を設ける。

問 太陽光発電の公共施設への設置は

大規模電力供給太陽光発電実証研究施設の完成

を受けて、災害時の利用等も想定し、新設の給食センターなどの公共施設、学校へ太陽光発電設備を設置したかどうか。



資源の有効活用を

答 施設の性格に応じ活用する

副市長 地球温暖化が深刻な問題となり、化石燃料からクリーンエネルギーへの転換が、自治体にも求められている。太陽光発電の給食センターへの導入については、大電力を長時間・安定的に必要なとすること、太陽光パネルの重量を支える構造壁が少ないことなど、施設の性格上から困難だ。

明野中学校、小淵沢中学校などに太陽光を利用した設備を設け、クリーンエネルギーの活用に努めている。災害時の避難場所に、小中学校の屋内運動場が指定されているので、学校施設等の改築や改修等の機会に、積極的に活用したい。

問 ゴミ袋の強化と花柄の導入を

北杜市は、燃えるゴミ、燃えないゴミ用の袋を、一枚一五円で販売しているが、ゴミを入れてから押さえると、すぐに破れてしまう。市民の多くは、

二枚を重ねて使用している。製作費が上がっても、丈夫な袋にすべきではないか。

東京江東区の商店街では、花柄プリントされたゴミ袋で、殺風景な場所が華やかになったと報じられた。これらの事例を参考にして、斬新なゴミ袋を作成することを提案する。

答 機能重視で対応

生活環境部長 北杜市は、分別の徹底を図り、危険物の混入による事故を防止し、収集効率を向上させるため、指定ゴミ袋制度を導入して、ゴミの収集運搬処理を行っている。ゴミ袋の強度については、合併の際の強度試験によると、葦崎市や峡北広域環境センターで使用しているものと同等だった。現在使用しているゴミ袋については、破れやすいといった苦情が何件かあったため、業者に対し、原因の究明を求め、厳重注意し、再発防止に努めるとともに、不具合のあるものは、市役所や各総合

支所で交換するなどの対応をしている。

江東区の例は、一日だけの試みと聞いている。北杜市の指定ゴミ袋は、分別の種類や注意事項の印刷等、機能重視で作成している。花柄プリント等にはコスト面など課題があり、現在のゴミ袋を基本にし、分別重視の方向で作製したい。

問 自立支援協議会設置の進行状況は

十八年九月の定例会において、現政経会メンバーの一般質問に対して、菲崎市を含めた峡北圏での、自立支援協議会設置を考えているとの答弁であったが、現在までの進行状況は。

答 四月に発足の予定

保健福祉部長 情報を共有し、具体的に協働する地域の関係者による、ネッ

トワークである自立支援協議会は、障害者の福祉だけでなく、医療、教育、雇用、権利擁護など、さまざまなニーズを検討するためには、広域での設

立が望ましいとの判断から、菲崎市との二市による設立に向け、準備してきた。協議会の委員構成は、病院、ハローワーク、退院促進自立支援員、学校の特別支援コーディネーター等の専門分野を含め、四六名と決まった。現在、それぞれの関係機関で委

員の選出を進めている。四月上旬には、「峡北地域障害者自立支援協議会」を設立したい。



公共施設に太陽光発電の導入を

3月
定例会
一般質問

3月定例会では、14人の議員が一般質問に立ち、19項目について市の考えをいただきました。これはその要約です。

幼稚園の補助事業について



篠原 珍彦

政経会

問 私立幼稚園は、地域の幼稚園教育を担い、社会の期待に応えながら、社会の発展に貢献できる人格形成の基礎を培うために、保護者や地域とともに努力している。また近年、著しい少子化は、社会全体に多様で重大な影響を及ぼすことから、国を挙げての改善・努力が急務となっている。

副市長 保護者の経済的負担の格差の是正を図ることが求められており、

市では平成二十年度から私立幼稚園の園児保護者に、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付し、負担の軽減を図ることとしている。

を提出、市では内容を審査の上、幼稚園に対して補助金を交付しており、保護者は幼稚園の入園料や保育料が減免されることとなる。平成十九年度の幼稚園通園児は三〇人おり、この制度を適用すれば、八人くらいが対象となると推測している。



外遊びだ〜いすき

農振解除の規制緩和と簡素化を



秋山 九一

政経会

問 国ではいろいろな分野で規制緩和がされているが、農振法は取り残されている。

地方の過疎化に大きく関連している問題だ。



農業振興の活性化を

緊急性ある農振除外は随時見直す

画を策定。今後の計画変更は、緊急性がある農振除外は毎年、随時見直し、本年度は市農業委員会、市議会、土地利用審議会等の関係諸団体で構成の北杜農業振興地域整備推進協議会で審議し、計画の変更予定。

の改革を踏まえ、担い手が農地を効率的に利用、農業資源の確保につなげ、農振管理を行っていく予定。

酪農農家の支援について



鈴木今朝和

市民フォーラム

問 北杜市の酪農は、地域農業の振興に大きな役割を果たしてきたが、今や存亡の危機に直面している。主な要因は配合飼料の高騰と乳価の低迷で経営を圧迫している。

答 配合飼料の九〇%を輸入に依存し、牛乳の生産コストのうち、飼料費は四〇%強を占めるといわれ、このため生産コスト増に直結し、酪農経営を厳しくしている。

問 J A 梨北の酪農部会の会員の中でも、すでに廃

業したり、廃業を考える人もおり、深刻な問題だ。そこで以下について伺う。

酪農経営専門家による経営安定対策の指導、個別の経営改善対策を行う考えは。

答 自給飼料増産のため、遊休農地の活用や、燃料代、肥料代の補助、生産機械導入、種子代の補助などを行う考えは。

きめ細かい指導を行う

副市長 北杜市は昔か

ら県内有数の畜産振興地域であるが、酪農家の高齢化や担い手不足は、深刻な問題だ。この状況の中で、飼料価格の高騰、乳価の低迷でさらに経営状況は厳しい。農家への経営相談は県、J A、市の担当者などにより随時行われているが、県と連携をして、今まで以上にきめ細かな指導の徹底に努めていく。

飼料価格の高騰は長期間と予測され、一時的な補助でなく、酪農経営の

永続的な道筋を立てることが重要である。このためには、自給飼料の増産と担い手の育成は急務で、今年度から飼料生産組織の構築を計画し、清里地区にも打診し、飼料増産の体制整備を図っていく。予防接種、たい肥施業農家への助成は、引き続き行っていく。



飼料の確保は大変

里山整備について



五味良一

市民フォーラム

ほか1件

問 先人が守り育てた里山が、手入れがされず荒廃が進み、松くい虫対策で各地で伐採されているのが見受けられる。十九年度に実施されている里山整備について、松くい虫防除駆除を含め、伺う。

答 平成十九年度に実施された面積は。

問 伐採後の変更樹木の種類は。

答 変更樹木の管理、下草刈り等は何年行つか。

森林整備の推進に努める

副市長 民有林における森林整備は、二一五ヘクタール。病害虫駆除は二、一八九立方メートルで、今後とも森林整備の推進に努める。

産業観光部長 ヒノキや杉が主体で、保護樹林帯を造成するもの。

副市長 植栽後、六年ほど下草刈り、枝打ちを行い、収穫までの間に三、四回の除間伐をする。



宿題やっちゃおう

臨時職員の処遇改善は

問 臨時職員の保育士、栄養士の有資格者に対し、賃金や特別賃金等の見直しをしたか。

答 学童保育の関係者間において情報伝達や連絡形態は。

その他の処遇改善は。

四月から給与改定

副市長 県内他市の状況や、十九年の職員給与の人事院勧告を考慮し、

本年四月から改定する。特別賃金は、年二回、臨時職員全員に支給。隔月で放課後児童クラブ指導者連絡協議会を開催し、市の情報を提供。指導員同士の情報交換、共通理解を図り、相互に運営方法を検討している。必要な情報は電話、FAXで行っている。

研修会の参加や連絡協議会の充実が必要で、全員が研修を受けられるよう、講師を招くことも検討していきたい。

地域再生の現状と取り組みは



小尾直知

公明クラブ



地域再生のまちづくりを

問 脱公共事業型の地域
経済再生が急務であり、

住民が行政とともに知恵を出し、汗を流し、必要があれば行政が金を出す。先に補助金ありきの考えを変革し、賑わいのあるまちづくりの推進が大事である。以下四項目について質問する。

シャッター通りに象徴されるように、商店街が地盤沈下している。コミユニティーの衰退であり、深刻な事態になっている。観光振興とまちづくりを一体的に進める施策が必要であるが、現在の状況

と今後の展望は。

今、まち中や集落の自然を眺め、そぞろ歩きを楽しむ観光に人気があるが、市内のさまざまな施設や農業体験など、有効活用の仕掛けづくりは、多くの美術館や文化施設の利活用と、リトリート事業への連動など、文化・芸術への取り組みは、構造改革特区を導入し、前三項目に対する具体的活用があるか。

行政と市民の連帯でまちづくりを進める

副市長 地域再生には、他分野の連帯と責任が不可欠であり、活性化には積極的に連携し、知恵を出し合う必要がある。

市内の観光資源を有機的に結合させ、歴史館巡りとして活用することは、長期滞在型観光を進めるためにも重要だ。コンソーシアムの品開発部会では、観光資源を磨きあげてメニュー化を進めてお

り、市も全面的に支援していく。

市内の美術館が、八ヶ岳ミュージアム協議会を通じて連携を図っており、広く市内外に周知し、リトリートの杜の観光資源として活用したい。

特区の導入は、観光関係の事業には該当しない。

福祉関連事業について



小林忠雄

市民フォーラム

問 後期高齢者医療制度については、対象者や家族の多くが、保険料や医療費について負担増などを心配している。

市では、各地で説明会を開催したが、どのような質問があったか。また参加状況は。

市では、講座の開設や運動を行っているが、実施計画の実績と効果は。

泉温泉センター、白州フオッサマグナの湯は、大量の重油や灯油を使用するが、燃料費高騰によ

る影響は。

後期高齢者医療制度周知に努める

副市長 市内八地区を五カ所に分け、市民説明会を開催した。アンケート調査の結果では、保険料の負担など、制度のポイントは多くの方に理解いただいた。身近な地区単位での説明会の開催要望などもあり、今後も各地区に出向き対応に努めたい。

保健福祉部長 介護予

防事業は要支援、要介護状態の予防、悪化防止を目的にしており、特定高齢者と一般高齢者施策事業がある。筋力アップ事業、認知症予防を目的としたふれあい広場、はつらつシルバー事業など、一〇の介護予防事業を計画・実施している。参加人員は増加傾向にある。事業効果の評価は、平成二十年度に介護予防評価事業を計画している。

原油価格の高騰は灯油、重油使用の温泉施設で、

管理・運営に影響を受けている。

指定管理者の社会福祉協議会では、管理の創意工夫や、燃料の削減に取り組む、影響を最小限にするよう努力しており、指定管理者の抱える問題については、十分協議していきたい。



元気が一番

市政執行三年間の総括は



ほか1件

林 泰彦

無会派

問 市長就任後の三年間を、どう総括するか。任期四年目の平成二十年度の市政の重点課題は。重点課題は二十年度予算にどう反映されたか。

八つの杜づくり 着実に推進

市長 八つの杜づくりを政策の柱に、行財政改革に取り組み、総体的には着実に実行できたと思っている。市議会をはじめ市民のご理解・ご協力により、北杜市の基盤づくりに努めてきた。市政四年目を迎え、夢と希望の持てる北杜市を築くため全力を尽くしたい。

夢と希望が持てる北杜市を



副市長 原つば教育の推進、企業誘致、観光振興、リトリートの杜宣言、道路網整備と市営バス運行見直し、環境日本一の推進、水力、太陽光発電実証研究、行財政改革の推進で市債の

減少、一三〇施設の指定管理などを推進してきた。少子化対策、安全安心のまちづくり、観光振興と企業誘致、農業生産基盤の整備、環境対策に重

点的に取り組む。二十年度予算ではコウノトリ支援事業、乳幼児医療費の窓口無料化、白州町の学童保育センターの移設、八つの杜体験ウオークラリー実施、各総合支所へAED配置、防犯防炎情報メール配信システム導入、食育推進プロジェクト、橋梁の点検事業、生活道路整備、観光リトリートの定着、誘致企業の支援、助成などを予算化している。

「公立病院改革ガイドライン」の問題点



ほか2件

中村 隆一

日本共産党

問 国の公立病院改革ガイドラインは、自治体病院の再編、廃止等を推進し、医師や病院を奪い、医療格差を広げる危険な内容である。北杜市の二つの市立病院が創立当時求められた役割は何か。地域医療協議会の設立を求める。

医療協議会設置は 検討

副市長 塩川病院、甲陽病院は地域住民が安心して治療や入院療養が受けられるようにという思いからスタートし、重要な役割を果たしてきた。市民本位の病院改革プランにするため、意見調整の組織は必要に応じて検討していきたい。

要介護認定と行政指導の改善を問 保険料は年金からも天引きされ、基盤整備は遅れている。給付抑制を優先して、高齢者の実情を軽視した要介護度認定を改めるべきだ。

認定は
全国統一基準で
保健福祉部長 専門的知識を有する認定調査員が聴取して、総合的に判断している。調査会でも全国共通の尺度で判定し、学識経験のある委員や主治医の意見を勘案して判定する。

全国学力調査と
教職員評価制度
問 今年も全国学力学習調査に参加するのか。昨年の調査結果をどう把握し、生かしたのか。五段階の教職員評価は負担が大きいが、その評価は。評価が賃金に反映する事態になっていないか。教育長 全国学力学習状況調査への参加は意義がある。教育委員会は三者面談で児童生徒個々に調査結果を提供し、今後の学習に生かすよう指導している。教職員評価書には、教職員が主体的に取り組んだ過程と、管理職の評価が記載されており、資質・能力の向上につながる」と期待している。

指定管理施設の実態は
問 指定後の実態と翌年度業務計画への対応は。市側の協定順守と施設や備品の更新への対応は。十分協議
企画部長 双方で十分協議している。

酪農の自給肥料確保を



渡邊 英子

北杜クラブ

問 穀物価格の高騰や乳価の低迷で、酪農経営は危機的状況にある。穀物飼料の高騰はバイオエネルギーへの転換、世界の穀物需要の高まりなど構造的な要因があり、酪農の振興には長期的視野に立った自給飼料の確保などの対策が必要だ。

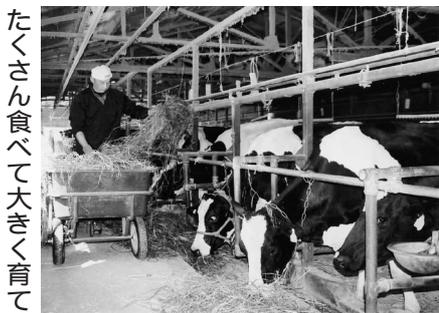
北杜市の酪農経営の実態をどう認識しているか
 荒廃・遊休畑地の効果的活用により、酪農の自給飼料生産を図るべきである。

一農家では対応が難しい農地の交換手続きの肩代わりや、賃借料の一部助成などの支援をしながら、畑地帯の圃場整備事業を実施し、牧草や飼料用トウモロコシなど、自給飼料の生産に振り向ける必要がある。小規模であっても、牧草の刈り取りや管理に必要なトラクターなど、大型機械が出入りできる農地整備が必要だ。市の自給飼料確保対策と、賃借料の一部助成はできないか。

耕畜連携で自給飼料生産団地整備を

副市長 酪農経営は後継者不足、輸入飼料価格や諸経費の高騰により、全国的に苦境に立たされており、北杜市内の酪農も非常に厳しいと認識している。

県は畜産農家への融資制度や補助事業の相談窓口を設置した。北杜市も長期的な畜産経営の安定化を図るため、自給飼料確保と耕畜連携に計画的



に組み、遊休農地の活用による飼料の増産確保について、担当者が直接農家と話し合いを進めたい。

認定農業者と担い手組織の育成、耕作地を確保することが必要であり、そのため二十年度から、県営中山間地域総合整備事業を活用して、高根町の二地区で進めるが、他の地区でも畜産飼料団地の整備を図っていく。そのためには飼料の受託栽培組織の構築が急務であり、現在、清里の畜産農家と耕種農家に話を進め、本年から耕畜連携による青刈り、トウモロコシ生産の実証実験を行う。

渓谷トレッキングルートの安全対策を



植松 一雄

無党派

問 国は観光庁を設置、県はデステイネーションキャンペーンを展開、観光志向はさらに高揚する。本市も観光モデル地域の指定を受け、リトリートの杜宣言に続き北杜二十四景が選定され、市内の豊かな自然景観が再認識されたところである。

観光を巡る潮流が多様化する中で、健康や癒しを求めてウォーキングやトレッキングへの志向はますます高まり、滝と渓谷を巡るコースでは石空

川渓谷と精進ヶ滝、川俣渓谷と吐竜の滝など数多くあるなか、特に尾白川渓谷への来訪者は極めて多く、近年破損が著しい。渓谷歩道では、滑落による死亡や骨折打撲などの事故が多発しており、落石事故の発生も懸念される。

安全確保のため、早急に必要最小限の補修と併せ、渓谷道入口に注意喚起の大型案内看板、危険箇所ごとに注意情報とコース案内の小型案内板を



設置すべきである。他の渓谷ルートも同様の対策が望まれ、観光客の集中する季節や休日には、現地の実態把握が必要。

日向山は山梨百名山に選定以降登山者が増加、矢立石直下の駐車スペースが常に満杯で路肩駐車で混雑。通行止ゲートをかじり国体の駐車場に移設して、本市の観光振興を図るべく、観光立県を掲げる県への要請を。

現地を調査し適切な対応を

副市長 これまでも計画

的に登山道や道標の整備を行ってきたが、今後とも現地調査と共に、関係者との連携による情報収集に努め、安全対策を図り観光客の増加につなげる。

尾白川渓谷道は早急に現地調査をして、補修整備や看板設置など適切な対応をする。

日向山林道のゲートの移設は、崩落の危険もあり難しい課題ではあるが、引き続き県に要望する。

梅ノ木遺跡の保護対策は



秋山俊和

北杜クラブ

問 明野の梅ノ木遺跡の保存対策について、過去二回質問した。縄文中期後半の大規模な環状集落が、良好な状態で保存されており、十六年度には竪穴住居跡や、土坑に加えて類例のない人面裝飾付吊手土器が出土、十七年度末には湯沢川周辺で縄文時代の道や水辺の作業場などが新たに確認され、市長からはテーマパーク構想も含めて、今後の遺跡保存のあり方を検討していくと答弁をいた

だいた。十八年九月定例会では、梅ノ木遺跡保存と国史跡指定の意見書を議決し、国に提出していただいた。その後の進捗状況はどうか。また、畑総事業への影響は。

基本構想を策定 史跡指定申請へ

教育長 十九年度までの、国庫補助事業による確認調査で、県内でも例のない貴重な発見が多くあり、文化的な価値の高い遺



受け継ごう将来へ

跡という評価をいただきたい。市としては、遺跡が所

在する三・六ヘクタールを、現状のまま保存する方針で、県営畑総事業、最終処分場建設事業との調整を進めている。本年度中に発掘調査報告を文科省と県教委に提出し、国の史跡指定申請に向けて、準備を進める予定である。遺跡の周囲にある、県営畑総事業地内の約二ヘクタールを非農用区域に指定、換地計画から除外し、工区内の工事完了後確定測量、事業費精算登記を終わる時期は、平

成二十二年の見込みである。

また申請には、遺跡保存管理活用基本構想が必要であり、二十年度に専門家による委員会を立ち上げ、基本構想を取りまとめて、文化庁に提出する必要があるので。遺跡の範囲には財産区有地や民有地もあり、地権者の同意も必要になる。基本構想の検討がある程度進んだ段階で地権者に説明し、ご理解をいただきたいと考えている。

里親制度の周知と支援を



保坂多枝子

北杜クラブ

問 保護者の死亡や病気などのほか、現在は親の精神的な支障による児童虐待や、子育て放棄などが多く、県内に六力所ある養護施設は常に満杯です。こうした子どもたちを救済する手段の一つに里親制度があり、この制度は児童保護法で措置され、児童相談所に対応している。

里親には三親等以内の親族里親や認定された里親があつて、資格要件が定められ、短期では一年

以内、十八歳になるまでの長期間もあり、国からは里親手当と措置費が支給され、医療費、教育費を全額補助している。ケースにより実親と密接にかかわりながら養育する場合や、全く交流のないほうが良い場合もあります。子どもには自分自身の育つ環境を選ぶことはできません。少子化対策の大きな柱として重要なことと思います。

課題として制度を知らない人が多いこと、里親

が足りない。対応してくれる窓口がほしいが。

制度の周知・支援に努める

副市長 家庭での養育に欠ける児童を、温かい愛情と正しい知識を持った家庭に迎え入れ、健全育成を図る有意義な制度で、里親の皆様には、親代わりの崇高な思いに敬意を表します。

十月の里親月間にポスター・リーフレットを各総合支所に置いていきます。

県内には里親が組織する山梨きずな会があり、研修会、情報提供、交流をしています。児童家庭課内児童家庭相談室が相談に応じ、県児童相談所に紹介します。



家族のきずな

シルバー人材センターの現状は



ほか1件
内藤 昭
北清クラブ

問 峡北シルバー人材センターへの市の負担額が、発足当時の三分の一に減った理由は、登録人員・組織・業務内容は、市民や企業が業務委託する方法は、市からはどんな事業を委託しているのか。環境パトロールの内容と不法投棄への対応は。

答 登録人員は五四〇人、副市長 十七年度から均等割を廃止し、人口割のみ負担している。登録人員は五四〇人。北杜市・韮崎市に居住する六〇歳以上で、理事会の承認を得た者で構成。駐車場管理、草刈り、植木の剪定など分野は広い。現場の確認や可否を判断し、見積書を作成して請け負う。植込みの剪定、資料館・ふれあい館の運営、指定文化財等の除草、市道の維持管理、市営の公園管理など多岐にわたっている。

問 ゴミの不法投棄監視および撤去をしている。地区ごとに監視ルートや場所を設定し、現在十一人で実施している。別荘等のゴミ持ち帰りとは不法投棄

また行政区に入っていないアパート住民の、不法投棄も目につくが、市の対応は。新たな収集方法を検討中



シルバーの腕はすばらしい

食の安全を守る対策は



坂本 重夫
北杜クラブ



地元産は新鮮で安全

問 日本の食料自給率は三九%であり、多くを輸入に頼っているが、最近、輸入農産物における残留農薬に対する不安が高まっている。食品衛生法改正により、残留農薬基準がポジティブリスト制になり、すべての農薬がppmの基準を超えて食品に残留すると、野菜等は販売・流通が禁止される。これは一〇〇トンの農産物に、一グラムの農薬が付着している状態である。法の改正により農産物出荷者は、農薬使用記録簿への記載義務があるがその状況とこれまでの対応策は。

副市長 十九年度産の減農薬減化学肥料米は、七〇ヘクタールで栽培。今後、農薬化学肥料を通常使用時の五割減での栽培を推進する。産業観光部長 JA梨北を中心に、営農指導員等による農薬使用記録簿への記載の徹底、隣接農地への飛散防止指導や、広報による啓発をしている。

市内一五カ所の農産物直売施設が、地産地消の発信拠点であるが、さらなる推進をする。学校給食では、北杜米を一〇〇%使用しているが、野菜は一〇%と低調である。食育推進のため、北杜食育地産地消推進協議会を設置し、三年後の学校での地元農産物使用割合を四〇%とする行動計画や、病院、福祉施設への供給体制も整備していく。

北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望など各地域からの『声』を掲載しています。



右見て、左見て

今回の選挙で選ばれると、全国唯一の日当制議員（福島県矢祭町議員定数一〇）が誕生する。町議選の立候補予定者は「選挙に金がかけれない」と「陣中見舞いお断り宣言」を出して有権者にアピールし、矢祭町も地元紙に意見広告として掲載し、理解を求めているという。北杜市も膨大な市債、十九年度末、九六四億円を考えると、これまで以上の思い切った行財政改革が望まれる。

この町は議員報酬を日当制とすることを決め、日当制に伴い、議員報酬は現行の三二〇万円から九〇万円程度になる見込みで、七割減となる。立候補を予定している全員が、日当性の賛否を超えて賛同したという。

全国初の
日当制議員



須玉町

高橋正明

私は飛躍の先のことを、こんなふうに考えています。「お店で働く人への十分な賃金、生産者への利益の還元、そして借入金返済済まれたら、続いて北杜市からの補助金返済も、何らかの形でできるようになったらいいな」と夢見ているのです。

ここ大泉で暮らすようになって六年。見よう見真似で畑仕事をはじめ、「パノラマ市場」とネーミングされた「大泉地産地消の会」直営所に、収穫物を出すようになって三年が経っています。そして、一年前から総務担当の役員になってしまいました。無から有を生み出すのは大変なこと、直売所の建物を作るのにも、多額の借入金が必要でした。北杜市からの補助金も大きな助けになりました。そしてこの春に、「パノラマ市場」は駐車場と店舗の拡大を実現して、大きな飛躍を迎えています。

私の夢
「大泉地産地消の会」



大泉町

東 健治

武川町では小学校、甲斐駒カントリーに設置されているとのことですが、案外知られていないのではないのでしょうか。AEDの設置について、広報等で周知することが必要です。また、設置場所についても、いざという時、いつでも使用できる場所が良いと思います。たとえば、二十四時間営業の場所であれば、救急時対応が可能と考えます。

昨年、救命救急法の講習会に参加して、人工呼吸法とAEDの使用方法について体験しました。不整脈に悩む友人が「日中はいいんだけど、夜中に急にドキドキする時はどうしようかと不安になる」と話しています。少子高齢化が進む北杜市においても、病気に不安を抱えている方は多いと思います。峡北消防本部に問い合わせたところ、救急車が出動して、現場に到着するまでの平均時間八分、山間地だともう少しかかるそうです。AEDが近くにあるれば、救急車が到着するまでに救われることもあるのではないのでしょうか。

AED設置について



武川町

功刀美津子

先日その経緯をある議員に話したところ、さっそく行政に働きかけていただき、表示板が実現しそうです。これはお金の有無というより、やる気の問題ではなかったのか。腰が重い行政を動かすには、優れた見識を持ち、地域の実情を把握していて、市民の声に真摯に対応できる市議会議員が必要である。私は、そういう議員を応援したい。

数年前、町観光協会の総会でこのことを訴え、入り口に表示板を設置してもらおうという結論を得たが、行政にお金がないという理由で、結局実現しなかった。行政に望むことはたくさんある。問題はそれを実現する手立てである。我が家は商店のため、道を尋ねられることが多い。特に三、四月は桜の名所を聞かれる。家の前の観光案内板で丁寧に説明する。有名な神代桜はまだよいが、「本村の関の桜」となると難しい。県道からの入り口が分かりにくいのである。

本村の関の桜を
知っていますか？



白州町

道村 順一



私たちの大切な足

声のひろば

koe no hiroba

市債残高の 圧縮努力を



高根町

輿水俊治

市の借金である市債の残高は、十九年度末で九六五億円とのことである。三〇年で返済するとすれば三二億円、五十年だと十九億円が必要で、十七年度末の残高一千九億円に対し、本年度末までの減少額は四四億円、また、二十年度予算における見込み減少額は十二億円です。この実績からして並大抵のことでは減らせないことが分かります。国の財政も逼迫しており、国からの交付金に期待することも全くできませぬし、そうかといって市税の増収、市事業の収益増もそれほど見込めないでしょう。

しかしながら、なんとしてもこの困難を打開していかねければ、「夢と希望の持てる北杜市」の実現は遠のくでありましよう。このために歳出を徹底的に見直した超緊縮政策が必須条件でしょう。また、私たち住民もこのことを念頭に置き、行政サービスについて「欲しがりません返すまで」の覚悟が要求されます。

名ばかりの千本桜



明野町

内藤敏子

都会から日帰り、気楽に観光できる北杜市は、自然に恵まれ、四季を通じて多くの人々に親しまれております。市では昨年、北杜市二十四景を選定されました。市内の素晴らしい自然景観を再認識することは、良い選定であります。でも、名ばかりの名所もありまます。それは、明野町の千本桜です。

花の季節には三六〇度展望がで、立地条件の良い茅ヶ岳へと観光客が足を運ぶ。以前の美しい景観が、損なわれているのが残念で、早い時期に保護ができなかったのかと惜しまれます。

今から四十年前、茅ヶ岳の素晴らしい景観を、広く県内外に知ってもらうために、この地を桜の名所にしよう、と老人会が主体となり、昭和三十三年から九年の歳月をかけた先人の思いをこめた桜風景を、次世代引き継ぐために、里山整備事業の一環として、行政の力で千本桜の花を咲かせてください。

思いやりのある 伝え方



小淵沢町

早川 孝

早いもので、北杜市誕生から四年目を迎えました。八カ町村がひとつの行政区になるよう広域化しました。住民構成も多様化し、市から住民に発信される行政情報も複雑化している現在、用語には目新しい外来語・略語・専門用語などが次々に登場しています。

このような状況にあって、必要な情報を住民に等しく共有されるよう、受け手である住民に配慮した言葉遣いを、日々工夫していただいていることと思いますが、行政情報の中で、ともすると分かりやすさや欠ける言葉が見受けられるのも事実です。住民に分かりやすく伝えるための言葉の工夫を、これからも積極的に進めていただき、必要な情報が住民に共有されるようお願いいたします。

このことがひいては、住民と行政との信頼関係構築につながるものと、確信している一人です。

自然との 共存共栄を



長坂町

伊藤 猛

地元北杜市での渓流釣りや茸、山菜採りが私の趣味ですが、しかしここ数年、山へ入ってみるとずいぶん自然環境が変化しているように思います。よいほうなら問題ないのですが、残念ながら悪いほうへです。

北杜市が推進しているリトリートの社をはじめ、ほとんどの施策が自然と関わりを持っていきます。北杜市が自然を売り込んでいる以上、自然環境の保護に努めるのは当然のことでしょう。四月からスタートする環境保全協力金制度は、素晴らしいアイデアだと思います。ぜひ有効活用し、現在進行している開発による森林の砂漠化現象や不法投棄問題、その他、河川の整備など自然に十分配慮し、北杜市の市民憲章が将来にわたって変わるものがないよう、長期的ビジョンに基づいた市政をお願いいたします。

そのためには市民代表である議員が、議会できちんと議論を大いにしてください。ただし、市民が理解・納得、そして共感できる議論であることが、根底には必要不可欠だと思います。

北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING



ほくと議会だより Vol.14
HOKUTO GIKAI DAYORI



編集後記

春は桜、別れや出会い、新しいスタートの季節といわれています。今年、桜の開花は例年より少し早いですが、三月の寒さが好影響を与えたのか、どこの桜も見事な花を開き、見物客を受け、その試練を乗り越えるほど、美しい花をつけると伝えられています。

今年も市内の小・中・高の学校の卒業式、入学式に参列する機会があり、子どもたちの様子を見ることができました。とかく相次ぐ不祥事の報道などから、今の子どもたちはと心配していました。ところが、式場での市内のどの学校の子もたちも、毅然とした中にも、尊敬・感謝・友への思いやりにあふれ、見事な花を咲かせていて感動しました。

北杜市の将来を託す子どもたちが、今の気持ち忘れず、これからいくつかの試練を乗り越え、しっかりと根を張り、大きな実をつけることを願っています。

さて、北杜市も合併から四年目を経過する中で、行財政の健全化を推進し、環境創造都市として将来に向け、明るい兆しが見えてきたようです。「議会だより」も第十四号を数えることになりましたが、皆様からのご指導・ご指摘を心より感謝いたします。

これからもさらに議会の内容を分かりやすく、親しみやすく伝えていきたいと思っておりますので、皆様からのご投稿、ご感想をお待ちしています。

- 議会広報編集委員会
- 委員長 鈴木今朝和
 - 副委員長 小澤 宜夫
 - 委員 岡野 淳
 - 坂本 新保
 - 中嶋
 - 風間 利子
 - 坂本 重夫
 - 利根川 昇
 - 野中 真理子